

ワンヘルスについての学びを多くの人に広めたい

市では、未来を守る心豊かな人材を育成するため「ワンヘルス教育」に取り組んでいます。昨年11月に開催された第18回みやま市青少年健全育成大会において、南小学校6年生の松藤美桜さんが、ワンヘルスについて力強いメッセージを発信しました。そのメッセージに込めた思いを松藤さんと担任の上村先生に伺いました。

松藤さん

Q なぜワンヘルスをテーマに？

A 6年生になってワンヘルスについて発表する機会があり、これを機に学んだことを、さらにいろんな人に伝えたいと思ったからです。



Q 今後取り組みたいワンヘルスは？

A 「基本方針7つの柱」の3、環境保護です。環境を保護するためにゴミの分別をしっかりと、リサイクルできるものを増やしていきたいです。

※青少年健全育成大会：「地域の子どもは地域で守り育てる」という理念のもと、青少年が自らの思いや考えを発表し、地域全体で子どもたちの健やかな成長を支える意識を高めることを目的に実施されています。

松藤さんが青少年健全育成大会で発表した主張の全文を紹介します。

* * *

私のできるワンヘルス

みなさん、今年はとても暑いですね。もう十月だというのに、まだ暑さが続いています。私はこの暑さで、毎日とても疲れました。どうしてこんなに暑いのでしょうか？

その原因の一つに「地球温暖化」があります。地球温暖化は、空气中の二酸化炭素が増えることで進みます。そして、それは人間の活動が原因で起きているのです。地球温暖化を止めるためには、自然を大切に、環境を守ることが大切です。

ところで、みなさんは「ワンヘルス」という言葉を聞いたことがありますか？ワンヘルスとは「人の健康」「動物の健康」「環境の健康」は、すべてつながっていて、一つの、健康、として守っていくという考え方です。私たち人間が健康で暮らすためには、動物や自然の環境も健康でなければなりません。

上村先生

Q ワンヘルス教育で気を付けていることは？

A 私自身が常にアンテナを高くもち、子どもたちが学びを行動につなげられるよう、日々の生活の中から気づきを与えることです。

Q 松藤さんの主張を読んで、どう感じましたか？

A ワンヘルスに対する美桜さんの思いがしっかり伝わってきました。また、ワンヘルスに関する学習の内容だけでなく、国語や理科などの時間に「これってワンヘルスにつながるよね。」と話していたのを覚えてくれたことを、うれしくも思いました。

ぜひ多くの人に読んでもらい、ワンヘルスに関して考えてもらいたいです。



努力をします。

二つ目は、「地産地消」に取り組むことです。みやま市の道の駅などで野菜を買うことで、地元の食べ物を選ぶようにします。近くでとれたものを食べると、遠くから運ぶトラックのガソリンが減り、二酸化炭素の量も少なくなります。それは地球温暖化を防ぐことにつながります。

三つ目は、学校や街の「植物を大切にすること」です。学校にはたくさんの植物があり、環境栽培委員会の人たちが水やりや花の手入れをして育てています。理科の授業で「植物は二酸化炭素を吸っ



て、酸素を出す」と学びました。植物が元気に育つことは、地球を守ることに繋がっています。だから、私は植物を傷つけないようにしたり、花や木に感謝の気持ちを持つたりして、大切にしていきたいです。

この三つの取り組みはどれも「ワンヘルス」につながっています。私は、人も動物も自然も、みんなが健康で、食べ物も安全に食べられて、安心して笑顔で暮らせる未来にしたいと思っています。だから私は自分で決めた「こみの分別」「地産地消」「植物を大切にすること」を、これからもずっと続けるようにがんばります。でも、一人人ががんばるだけでは、みやま市や地球全体を守ることはできません。だから、みなさんをお願いです。どうか、自分にできる「ワンヘルス」を一つでもいいので考えて行動してみてください。一人ひとりの小さな行動が集まれば未来はきっと変えられます。みんな力を合わせて、ずっと笑顔でいられる、すてきなみやま市をつくっていきましょう！

★第8回ワンヘルス楽校 冬の感染症対策に！ワンヘルスせっけんづくり月



《講師》
代表取締役 林 竜馬 さん

久留米市のまるは油脂化学株式会社から講師を迎え、環境に優しいせっけんづくりを行います！冬の感染症対策をテーマに、普段なかなか体験することのないせっけんづくりを通して、感染症予防や環境への配慮について学び、楽しみながらワンヘルスを学べる講座です。

- 日程…2月21日(土)
- 時間…①10時～11時 ②11時15分～12時15分
- 場所…バイオマスセンター2階研修室・オープンスペース
- 参加費…500円
- 要申込(定員:各回10人)



申込フォーム